

～県北地域 感染症発生状況～

県北地域では、**RSウイルス感染症・感染性胃腸炎・咽頭結膜熱**の流行がみられています。
定点当たりの報告数(※)を、福島県全体と県北で比較すると・・・

※「定点当たりの報告数」とは、医療機関当たりの平均報告数のこと

・**RSウイルス感染症**・・・県北 **4.6**、県 **1.2**

0.4を超えると「流行」!

→県全体と比べると、**約4倍!** 県北地域で**かなり流行**しており、8月下旬から流行が続いています!

特に、2歳までの乳幼児は感染しやすく、感染を繰り返します。咳がひどい、呼吸が苦しそう、食欲がない等の症状がある場合は、**早めにお近くの医療機関を受診**してください。

・**感染性胃腸炎**・・・県北 **6.4**、県 **7.8**→県北で流行の基準を超えており、県全体でも流行しています。

→下痢・吐き気・嘔吐・腹痛等の症状がみられます。

タオルの共用はせず、洗濯物を分けるなど、**家庭内感染**にご注意を!

5.1を超えると「流行」!
手洗いうがいを徹底しましょう。

参考:福島県 感染症動向調査(2023/2/13~2/19)より



令和5年3月13日から、マスクの着用は個人の判断が基本となりますが、
以下のような場面では、マスクを着用しましょう。

感染を広げないために

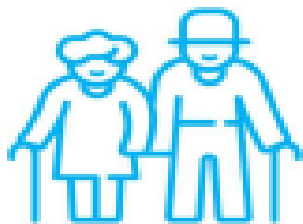
- ・医療機関を受診するとき
- ・医療機関や高齢者施設に訪問するとき
- ・混雑した電車やバスに乗車するとき



※高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等の従事者の方は、
勤務中のマスクの着用を推奨しています。

感染から身を守るために

- ・新型コロナウイルス感染症の流行時に、重傷化リスクの高い方が混雑した場所に行くとき



高齢者



基礎疾患をお持ちの方



妊婦



マスクの着用は、**周りの人に感染させることを防ぐために重要**です。
症状がある方、人混みなどの密な環境や人と会うときは、引き続きマスクの着用を心がけましょう!

梅毒の感染者数が増えています！！

梅毒の感染者数は、2011年頃から増加し始め、**2021年以降大きく増加傾向**にあります。
男性は20～50代、女性は20～30代を中心に、**異性間の性交渉での感染**が増えています。

○県北地域、福島県、全国での梅毒患者数

	2021年	2022年	
県北地域	3人	7人	2.3倍 ↑
福島県	104人	160人	1.5倍 ↑
全国	2362人	3431人	1.5倍 ↑

2021年と2022年の梅毒感染者数のデータを比較すると、福島県では**1.5倍**、県北地域では**2.3倍**増加しています。
全国でも2021年と比較して、2022年には**大幅に増加**しています。

○なぜ増え続けているのか？

梅毒患者数増加の原因は明らかになってはいませんが、多数の相手と性的接触を持つと**感染する(または感染させる)**リスクが高まります。誰にでも感染するリスクがあります！

特に、妊娠適齢期の女性は注意が必要です！！

妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産や早産、奇形等が起こることがあります(先天性梅毒)。

○梅毒とは？

梅毒トシポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、**キスや性交渉**等の性的接触により、口や性器等の**粘膜や皮膚**から感染します。

オーラルセックス(口腔性交)やアナルセックス(肛門性交)などでも感染します。

○症状について

性器や口の中に、硬い**しこり**が生じます。

症状に気付いたら、**早めに受診を！**

しこりはすぐに消えますが、その後発熱・倦怠感等の症状が出る場合があります。

また、「**パラ疹**」と呼ばれる赤く目立つ発疹が全身に広がります。

→**症状が消えても完治したわけではありません。体内で増殖し他人へ感染させてしまう恐れがあります！**



○治療・予防

梅毒は、**早期**に発見することが大切です。抗菌薬の内服により、**治療が可能**です。

パートナー同士の感染の有無の確認が、まん延防止のために必要です。また、性交渉の際には、**コンドーム**を適切に使用し、1人ひとりが意識して予防していきましょう！

参考：福島県 感染症動向調査、厚生労働省ホームページ(<https://www.mhlw.go.jp>)

保健所でHIV(梅毒)検査を実施しています！

毎月第4週月曜日 完全予約制 即日検査(当日のうちに結果が分かります)

県北保健所では、HIV抗体検査(梅毒検査)を**無料・匿名**で実施できます！

○症状があり、パートナーの感染が明らか場合は、早期に治療に繋げるためにも、**早めにお近くの医療機関(※)へ受診**しましょう！

※性病科、泌尿器科、産婦人科、皮膚に症状がある場合は皮膚科などにご相談ください。

○症状がなく、感染不安がある方は、こちらへお電話ください。

⇒**県北保健所 感染症予防チーム:024-534-4113**



発行日:令和5年3月1日

発行元:福島県県北保健所 医療薬事課 感染症予防チーム

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ:検索キーワード

福島県県北保健所